

COMPANY OUTLINE 会社概要

社名	郵船コーディアルサービス株式会社		
拠点	■本店	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル10階 代表電話:03-6759-8800	
	■丸の内事業所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル	
	■八重洲事業所	〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-8 大星八重洲ビル10階	
	■横浜支店	〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 郵船ビル2階	
	■阪神支店	〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-1-1 神戸メリケンビル3階	
設立	1971年3月18日	代表者	代表取締役社長 伊澤 正紀
資本金	3,500万円	従業員数	491名(2021年1月1日現在)
勤務時間	9:00~17:00(実働7時間)		
休日・休暇	■土・日・祝日、年末年始 ■有給休暇(初年度14日)、夏期休暇(5日間)、冬期休暇(2日間)、その他特別休暇		

結婚や出産後も働き続けるために**育児支援制度**にも力を入れています!

女性社員だけでなく男性社員も育児休職制度を利用しやすい環境が整っています。

- 妊娠中の社員** 通勤緩和措置、定期検診等のための通院休暇
- 育児休職中の社員** 通信教育講座の受講優遇
- 復職した社員** フレックスタイム制度、子の看護休暇制度、育児短時間勤務制度、その他諸制度

産前産後休暇・育児休職取得者数

年度	人数
2017年度	17名
2018年度	17名
2019年度	22名
平均	19名

女性社員の産休・育休取得率 **100%**

次世代育成支援制度による短時間・フレックス利用者数

制度利用者	女性社員数
フレックスタイム利用者	18名
短時間フレックスタイム利用者	36名
短時間利用者	0名
計	54名

女性正社員の **17%** が利用中!

※2021年1月1日現在

福利厚生・教育研修

- 保険**
 - 健康保険
 - 厚生年金保険
 - 雇用保険
 - 労災保険
- 保養所等**
 - ベネフィット・ステーションに加入(会員専用宿泊プラン等の利用、各種割引あり)
 - 日本郵船の各種保養所
 - 健康保険組合の各種保養所および体育施設(大宮・成田運動場等)利用可能

充実した教育制度で職種に応じた**スキルアップ**をサポート!

- 新入社員研修** ビジネスマナー研修や会社組織の仕組み、組織人としての心得等に関するカリキュラムで構成されています。
- 自己啓発支援** 通信教育講座や資格取得支援制度など、社員の学びの意欲をサポートする制度が整っています。
- 階層別各種研修** 入社からの年次や等級、それぞれのステージに必要なスキルを習得できます。
- 乗船研修** 船内生活を体験し、乗組員と積極的に意見交換することで、船の現場をより理解できます。



「貿易実務基礎研修」「税務研修」「仕事の進め方研修」等、他にも多彩な講座があります。

YCS 郵船コーディアルサービス株式会社

採用案内



挑戦しよう
Try

We will act on our own and continue taking on new challenges.

共感しよう
Empathize

We will work with each other with our minds open, united within ourselves, sharing our knowledge and experience.

成長しよう
Grow

Each one of us will set a high goal to channel our own growth toward the growth of the company.

YCS 郵船コーディアルサービス株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル10階
TEL:03-6759-8800 Email:YCS.S.JINJI@nykgroup.com

<https://www.ycsc.com>

ともに描く。ともに生きる。

MISSION

使命

「人のチカラ」と「知のチカラ」で、
選ばれる企業へ。

To become a company selected because of the “Power of People” and the “Power of Knowledge”.

VALUE

提供すべき
価値

「人のチカラ」

私たちは、時代とともに変化するお客様のニーズに寄り添い、誠意あるサービスで応えることで、信頼されるパートナーとなります。

「知のチカラ」

私たちは、海運・人材サービス業の専門性を磨き、プラスアルファの提案をすることで、お客様の期待を超えるエキスパートとなります。

SPIRIT

行動指針

挑戦しよう。

まず自ら動き、新しいことへのチャレンジをし続けます。

共感しよう。

オープンマインドで働きかけ、心ひとつに、知識・経験を共有します。

成長しよう。

一人ひとりが目標を高く持ち、自分の成長を会社の成長につなげます。

「人財」と「専門性」で明日に貢献する

当社は、日本郵船株式会社(NYK)と鈴与株式会社の合弁会社として、海・陸・空に総物流事業を展開するNYKグループのさまざまなニーズに、「人のチカラ」(人財)と「知のチカラ」(専門性)でお応えしている会社です。

事業内容は、お客様のパートナーとして船舶の運航や営業管理、サポート業務を行ったり、船積書類の作成や給与計算業務の引き受け、横浜港・神戸港での船舶の入出港手続きや貨物の集荷業務と多岐にわたり、日本郵船やOCEAN NETWORK EXPRESS社をはじめとしたNYKグループ各社になくはない存在となっています。

当社社員に求められるものは、世界や社会の変化への関心や仕事への興味を持ち、お客様や仲間と明るく元気のあるチームワークを発揮できる“チカラ”です。NYKグループは風通しがよく、また当社は若手社員にも活躍の機会が多くあります。そういった環境の中で、私たちと一緒にお客様と社会に貢献しながら、自身を成長させてみませんか。

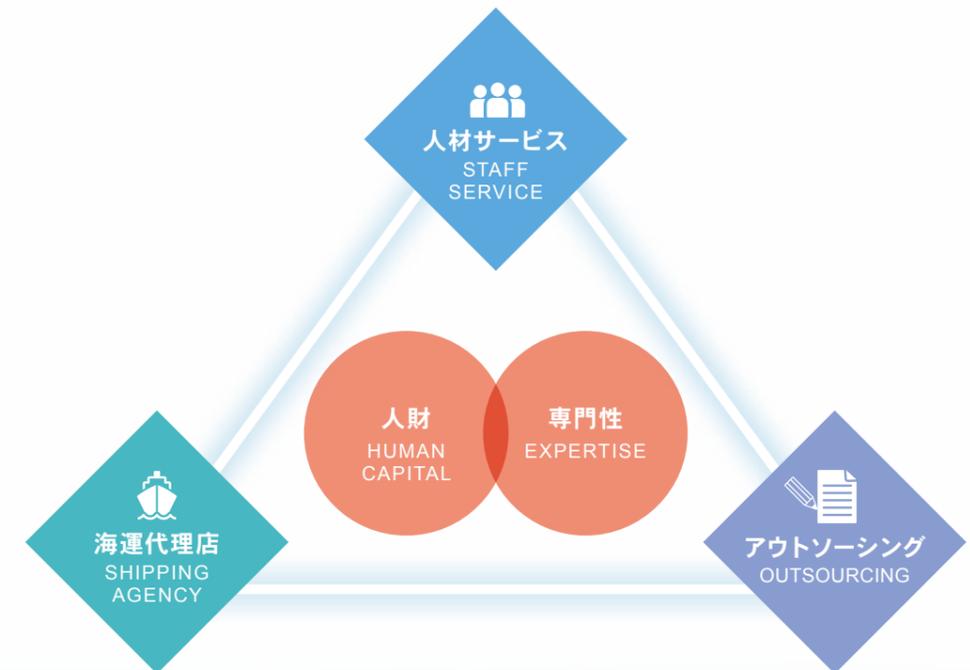
代表取締役社長 伊澤 正紀

「人財」と「専門性」の強みを活かして、
3つの領域において事業を展開しています。



日本郵船グループへの
人材派遣・職業紹介

当社の事業の軸が、人材サービス。
貿易、海運関係の求人ニーズに応える、的確な
人材とのマッチングを図ります。



船舶代理店・菟荷代理店

海運代理店として半世紀以上にわたり築き上げたネットワークを活かし、万全の代理店サービスを提供しています。



給与厚生業務・港費精算他

お客様の経営の効率化、コア業務の推進をサポートするために、幅広い分野においてアウトソーシングのサービスを提供しています。

スケールの大きな仕事をしたい。
その夢が叶いワクワクしています。

北米航路や豪州航路などの自動車船の入出港に関わるサポートをしています。大学時代に留学したインドで、日本製の車の多さに驚いたことが海運・物流業界に興味を持つきっかけだったので、自分がその一翼を担うことができうれしいです。担当する船のスケジュールが決まると、官庁への書類作成と申請、水先案内人やタグボートの手配などをして受け入れ態勢を整えます。入港時には船内でキャプテンとミーティング。荷役の予定の確認などを行うだけでなく、停泊中の観光についてアドバイスをしたり、体調が悪い方がいれば病院の手配をすることもあります。心掛けているのは、日本の窓口として船員の方々の困りごとに誠実に対応すること。やっぱり日本のことを好きになってもらいたいですからね。出港時にも再度乗船し、必要書類の受け渡しや経費の精算を行います。こうした仕事は男性のイメージが強いかもしれませんが、女性の先輩方も活躍しています。就活で私が大切にしたのは、直感です。面接の時に感じた、「ここで働きたい!」という直感は間違っていないでした。

Agency
代理店

横浜支店
船舶代理店チーム
Fujiwara Natsuko
藤原 奈津子
2019年入社
現:NYKサポートグループ
NYK燃料グループ
燃料チーム

「人のチカラ」と「知のチカラ」で、

一人ひとりが主人公として、それぞれのステージで活躍しています。

Human Resources
人材

課題の解決方法を示すことで、
海運の未来に貢献していきます。

それぞれのチームが抱えているビジネスの課題を分析して、効率よく成果を出せる方法を導き出す。それが私の所属するビジネス・プロセス・マネジメント、略してBPMチームの役割です。私がここで働きたいと希望した理由は、代理店チームで培った現場のプレイヤーとして感覚を活かしながら、より大きな枠組みの中で業務改善を試みたいと考えたことがきっかけです。実際に仕事をしてみると、海運に関する知識に加えてIT関連の知識やスキルも必要で、配属当初は苦労しました。それだけに自分のアイデアがカタチになった時、またそれによって現場の仕事量が減って感謝された時は、「やってよかった」と素直に感動しましたね。関わるプロジェクトの規模が大きいので、責任も重いですがやりがいも大きいです。私の経験から就活中の皆さんにアドバイスするとしたら、好きなことよりも、得意なことを仕事にすることを考えてみるのも良いのではないかと。だから今のうちにいろいろなことにチャレンジしましょう。その過程で好きなこと、得意なことが、きっと見つかるはずですから。

NYKサポートグループ
NYK自動車船第二グループ
BPMチーム
Matsuzaki Terumichi
松崎 輝道
2016年入社

この仕事、この仲間たちと
出会えた自分は幸せだと思います。

ペルーから日本へ来たのが14歳の時。母語はスペイン語で、大学では英語を身につけました。正直なところ、最初は日本語の勉強を兼ねながら、ビジネスのマナーやスキルを学びたいと考えていましたが、今は純粋にこの仕事が楽しくて仕方ありません。日本と世界をつなぐ仕事にやりがいを感じていますし、オフィスのアットホームな雰囲気も大好きです。担当しているのは、輸出コンテナの受け渡しに必要な船荷証券に関する仕事です。1日に処理する書類の数は平均して250件ほど。書類に不備があれば、揚げ地で荷物が受け取れずお客様に迷惑をかけてしまうので、お客様が荷物を受け取るまでは気を抜けないですね。1人では解決が難しい課題に直面した時は、必ず誰かがサポートしてくれます。チームワークの良さも、私たちの強みの一つだと思います。郵船コーディアルサービスは、社員一人ひとりを大切にしてくれる会社です。学ぶチャンスも、挑戦する機会も与えてくれます。私のように外国籍の方や帰国子女の方も、言語能力を活かしながら成長できる場がたくさんありますよ。

Human Resources

人材

ONEサポートグループ
ONE関東支店
受渡部 輸出課
Watanabe Diego
渡部 ディエゴ
2019年入社

選ばれる企業へ

Entrusted
受託

自分の可能性が広がっていく。
そう実感する毎日です。

入社後に配属された船員給与担当を経て、現在は海外赴任者のサポート業務をしています。海外赴任が決まった方への連絡を皮切りに、必要書類の準備や説明会の実施、予防接種の紹介や引っ越し手配の案内まで仕事は多岐にわたります。また出国前だけでなく、様々な赴任先から相談のメールを頂くことも多いです。実務的なサポートはもちろんのこと、海外赴任者の方々が制度も風習も違う異国で安心して活躍できるように、心理面での不安を取り除くことも私の大切な役割だと考えています。まだまだ勉強の日々ですが、赴任する方全員と接する唯一のポジションであり、私が起点となる仕事も多いので、確実かつ迅速な対応を心掛けています。

元々は大学で身につけた保険や海商法の知識を活かせる部署が希望でしたが、給与管理も海外赴任者サポートも、取り組む内に興味をわいてきました。就活も新しい自分を発見するチャンスです。社会見学のつもりで、幅広い業種を見て、その選択肢の中に郵船コーディアルサービスがあったらうれしいですね。

受託事業第二グループ
給与・厚生センター
給与チーム
Tsuchiya Kana
土屋 和菜
2017年入社
現:NYKサポートグループ
NYK自動車船第二グループ
業務チーム

受託事業第一グループ
シェアードサービスチーム
チーム長補佐

Tsuruta Seiko

鶴田 誓子

【1991年】正社員として入社
【1991年～2001年】
P&W事業部 給与厚生・データエントリセンター
【2001年3月～6月】産休(第一子)
【2001年6月～2005年】
P&W事業部 給与厚生・データエントリセンター
【2005年2月～4月】産休(第二子)
【2005年4月～2006年】
P&W事業部 給与厚生・データエントリセンター
【2006年4月～2011年】
P&W事業部グループ 給与厚生SSセンター
【2011年5月～2019年】
P&W事業部グループ 給与厚生SSセンター
シェアードサービスチーム
【2019年4月～現在】
受託事業第一グループ シェアードサービスチーム



NYKサポートグループ
NYK技術本部 海務グループ
安全チーム

Takemoto Tomoko

竹元 朋子

【2006年】正社員として入社
【2006年～2009年】
NYK CSR推進グループ
コーポレート・シティズンシップ・オフィス
【2009年10月～2013年】
NYKバルク・エネルギー輸送統轄グループ
統轄チーム
【2013年10月～2017年】
NYK 海務グループ 船費会計統轄チーム
【2017年9月～2018年4月】
産休・育児(第一子)
【2018年4月～2020年】
NYKサポートグループ
NYK海務グループ 安全チーム
【2020年12月～現在】
産休・育児(第二子)



郵船コーディアルサービスは
長く働ける会社、
それ以上に長く
働きたくなる会社です。



先輩社員座談会

数多くの女性社員が、仕事と家庭を両立させながら働いている郵船コーディアルサービス。
どのように仕事と向き合い、自分を成長させてきたのか。先輩社員に聞いてみました。

1. 現在の仕事内容を教えてください。 *Question*

鶴田: 日本郵船のグループ会社、21社の給与計算やそれに伴う書類関係の手続きなどを行っています。現在の職場は10年以上になりますが、大切な皆さんの給与を扱う仕事なので、常に緊張感をもって取り組んでいます。

竹元: 確かにお金を扱うのは大変そうですね。

鶴田: 法律などは毎年のように変わるので、日頃の勉強は欠かせません。でも責任が重い分、やりとげた時の達成感は大きいですよ。竹元さんはどのような仕事をされているのですか？

竹元: 私は産休後に、日本郵船の海務グループ安全チームに配属されました。船の安全航行に関する業務を行う部署で、セキュリティや海賊関連の情報を集めて関係者にアナウンスしています。

鶴田: 中東でタンカーが攻撃されたというニュースもありましたね。

竹元: 実は日本で報じられていない案件もたくさんあるんです。この仕事をするようになって、安全にモノを運ぶこと、乗組員の安全を守ることの難しさを痛感しています。

鶴田: 日本で暮らしていると、当たり前のように感じる安全も、実は当たり前ではないんですね。

竹元: 日本の貿易のほとんどは、海上輸送で賄われています。だからこそ、安全航行に貢献できる仕事にやりがいを感じています。

2. 入社当時に苦労したことなどはありますか。 *Question*

鶴田: 入社当初は、船荷証券を発行するためのデータのインプットや船運賃を設定する部署に配属されました。船が出るまでに必ず船荷証券を発行しなければならないので、出港が重なった時は残業も多かったですね。今はシステムも制度も改善されたので、どの部署も働きやすくなったようです。



仕事も家庭も周囲の
支えがあって今があります。
自分も早く支える側
になりたいです。

竹元: 当時、確実に仕事を進めるために、工夫されたことなどはありますか？

鶴田: 〆切から逆算してスケジュールを組んで、それに沿って仕事をするようにしました。〆切が絶対という意味では、給与計算の仕事に近いかもしれません。最初の職場での経験が、現在の職場で活かされていると思います。竹元さんはいかがですか？

竹元: 私は船費会計統轄チームで船舶のコスト管理をしていました。船のメンテナンスなどに関わる費用を取りまとめる仕事です。船についての知識が全くなかったのが、専門用語などを覚えるまでは大変でした。会計業務でしたので今の仕事とはあまり共通点はありませんね(笑)。でも幅広い仕事を経験できるのが、郵船コーディアルサービスの良さでもあります。

3. 仕事と家庭のバランスについて 教えてください。 *Question*

竹元: 私は産休に入って半年で復職しました。出産後も働くママさん社員が多いので、仕事を続けることに迷いはありませんでした。今の目標は、鶴田さんのように仕事と家庭を両立させることです。

鶴田: 私が仕事と家庭を両立できているかどうかは別として(笑)、女性が多い会社ということもあって、女性が人生で直面する課題に寄り添った制度も多いですね。私が出産した頃は、ここまで充実した環境は整っていなかったのが、少しうらやましい気もします(笑)。

竹元: それは理解のある会社と、頑張ってくれた先輩方のおかげだと感謝しています。私は時短勤務とフレックスタイムを併用していますが、育児に限らず家庭の事情などがある方にも働きやすい会社だと思います。

鶴田: 確かに男性にとっても働きやすい環境ですね。ところで、お子さんがまだ小さいと、急に体調をくずしたりしませんか？

竹元: 子どもが発熱すると、休まざるを得ないのが実情です。そんな時のために、自分が抱えている仕事を周囲の方々にお知らせするなどして、共有させてもらっています。様々な方々のサポートがあって、乗り越えている感じです。

鶴田: 私は子どもたちが成長したので、その面では楽になりました。今までお世話になった分、これからは会社や周囲の方々に恩返しをしたいと思っています。

竹元: 出産後も働き続けることだけが正解ではないかもしれませんが、働かなければ得られない感動や成長もあると感じています。

鶴田: 確かにそうですね。どちらにしても、「働き続けられる」という選択肢があるのは安心ですね。



2019年度 育児休職社員交流会

4. 就職を目指す学生の皆さんへ メッセージをお願いします。 *Question*

鶴田: 興味を持ったことには、積極的に挑戦してください。様々な経験をすることで広がった視野や行動力は、社会人生活に役立つだけでなく、人生を豊かにしてくれます。

竹元: 就活は特別な時期。これほどいろいろな会社を見て、生の声を聞ける機会はありません。WEBだけでなく、足を運んで、会社の雰囲気を感じてみてください。

鶴田: 郵船コーディアルサービスを実際に見学してもらえれば、穏やかでアットホームな雰囲気が伝わるとと思いますよ。

竹元: スケールの大きな仕事がしたい。子育てしながら働きたい。男女問わずおススメできる会社です。



2019年度 NYKグループ水上運動会

